



# 製品安全データシート

作成日 2008年12月24日  
改訂日 -

製品名： タナシーラー

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：	水性エマルジョン
会社名：	<b>田中石灰工業株式会社</b>
住所：	高知県高知市五台山3983番地
電話番号：	088-878-0566
緊急連絡電話番号：	088-882-1158
FAX番号：	088-884-0289
メールアドレス：	sekkai@tanakasekkai.jp
推奨用途及び使用上の制限：	建築用下地処理としての使用を推奨する。

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性：	火薬類	分類できない
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん）	区分外
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分1
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分1
	吸引性呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

### ラベル要素

絵表示又はシンボル：	該当するGHSラベル要素なし。
注意喚起語：	該当するGHSラベル要素なし。
危険有害性情報：	該当するGHSラベル要素なし。
注意書き：	該当するGHSラベル要素なし。
国・地域情報：	

## 3. 組成、成分情報

## 化学物質

単一製品・混合物の区別：	混合物				
一般名：	水性エマルジョン				
化学名：	エチレン・	エチレングリコール	酢酸ビニル	ニュートラル潤滑油用	水
	酢酸ビニル共重合体			基油（鉱油）	
成分及び含有量：	44～46 %	3.0～8.0 %	0.1～0.5 %	0.1～0.3 %	48～50 %
化学式：	$(C_4H_6O_2)_x \cdot (C_2H_4)_y$	$C_2H_6O_2$	$C_4H_6O_2$	特定できない	$H_2O$
C A S 番号：	24937-78-8	107-21-1	108-05-4	非公開	—
官報公示整理番号 （化審法・安衛法）：	6-6	2-230	2-728	非公開	—
分類に寄与する不純物 及び安定化添加物：	情報なし				
濃度又は濃度範囲：	情報なし				

## 4. 応急措置

吸入した場合：	蒸気、ガスなどを吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：	付着した衣服、靴をぬぎ、付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合：	清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。
予想される急性症状及び 遅発性症状：	
最も重要な兆候及び症状：	

## 5. 火災時の措置

消火剤：	水、強化液、泡消化剤、粉末消化剤、ハロゲン化合物消化剤。
特有の危険有害性：	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法：	このもの自体に可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。 燃焼の際は、火元への燃焼源を断ち、消化剤を使用して消化する。 延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。 消火作業は風上から行う。
消火を行う者の保護：	消火作業の際は、適切な保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	作業の際には保護靴、保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項：	流路を毛布・土嚢等を用いてせき止め、河川、湖沼への流出を防止する。 河川、湖沼へ流入した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村町の公害 関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。
回収、中和：	多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライ ト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。
二次災害の防止策：	漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどの措置を行い、作業員以外の立ち入りを禁 止する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

技術的対策：	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 手洗い、洗眼、うがい等の設備を設ける。
局所排気・全体換気：	局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項：	取扱いは換気の良い場所で行う。 残液や、洗浄に使用した水は下水には流さないようにし、廃棄上の注意の項を参照して適 切に処理する。 取扱後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

## 保管

技術的対策：	革張り防止のため容器を密閉して保管する。
混触危険物質：	なし。
保管条件：	凍結、直射日光を避け、5℃から35℃の屋内で保管する。

容器包装材料： 水含有製品のため、ポリ容器、内面ポリマーコーティングした容器等。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度：

ACGIH：

[エチレングリコール] 天井値 100mg/m<sup>3</sup> (ACGIH 1999年版)

[酢酸ビニル] TLV-TWA 10ppm (ACGIH 2002年版)

TLV-STEL 15ppm (ACGIH 2002年版)

[ニュートラル潤滑油用基油(鉱油)] TLV-TWA 5mg/m<sup>3</sup> (ACGIH 2002年版)

TLV-STEL 10mg/m<sup>3</sup> (ACGIH 2002年版)

\* 鉱油ミストとして

設備対策：

室内で取り扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置するほうが好ましい。スプレーなどの使用で飛散する可能性がある場合はその対策をとる。

保護具

呼吸器の保護具：

簡易マスク。

手の保護具：

保護手袋（ビニール製・ゴム製）。

眼の保護具：

保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具：

長袖、長ズボンの作業服、保護帽、保護靴。

衛生対策：

保護具は保管場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。

取り扱い場所の近くに手洗い、洗眼、うがい等の設備を設け、その位置を明示する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 乳白色の液体  
 臭い： 微酢酸ビニル臭  
 pH： 4.0～6.5（2倍希釈）  
 融点・凝固点： 約0℃  
 沸点、初留点及び沸騰範囲： 約100℃  
 引火点： なし  
 爆発範囲： データなし  
 蒸気圧： データなし  
 蒸気密度（空気 = 1）： データなし  
 比重（密度）： 約1.1 g/cm<sup>3</sup>  
 溶解度： 水で無限大に希釈可能  
 オクタノール/水分配係数： データなし  
 自然発火温度： なし  
 分解温度： データなし  
 臭いのいき（閾）値： データなし  
 蒸発速度（酢酸ブチル = 1）： データなし  
 燃焼性（固体、ガス）： データなし  
 粘度： データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性： 一般的な貯蔵・取り扱いにおいて安定である。  
 危険有害反応性可能性： 知見なし。  
 避けるべき条件： 凍結させないこと。  
 混触危険物質： —  
 危険有害性のある分解生成物： 知見なし。

## 11. 有害性情報

急性毒性：

経口：	[エチレングリコール]	ラットLD <sub>50</sub> =4,000-10,200mg/kg
	[酢酸ビニル]	ラットLD <sub>50</sub> =2,900mg/kg
	[鉱油]	ラットLD <sub>50</sub> >5,000mg/kg
経皮：	[エチレングリコール]	ラットLD <sub>50</sub> =10,600mg/kg
	[酢酸ビニル]	ウサギLD <sub>50</sub> =2,335mg/kg
	[鉱油]	ラットLD <sub>50</sub> >5,000mg/kg
吸入:蒸気	[エチレングリコール]	データ不足のため分類できない。
	[酢酸ビニル]	ラットLC <sub>50</sub> =11.4mg/L（4時間） 吸入すると有害
	[鉱油]	データなし
吸入:ミスト	[エチレングリコール]	データなし
	[酢酸ビニル]	データなし
	[鉱油]	ラットLC <sub>50</sub> >2.18mg/L

皮膚腐食性・刺激性：

[エチレングリコール] ウサギ、モルモットを用いた皮膚刺激性試験の結果、軽度

	<p>の皮膚刺激が見られた。(CICAD45(2002))</p> <p>[酢酸ビニル] ウサギを用いた皮膚刺激試験の結果、軽度の刺激が見られた。(CERI・NITE有害性評価書 No60(2004))</p> <p>[鉱油] ウサギを用いた試験において軽度の刺激性が見られた。(IUCLID(2002))</p>
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：	<p>[エチレングリコール] ウサギを用いた眼刺激性試験の結果、短時間暴露は角膜の永久障害を伴わない結膜への刺激をもたらす。(CICAD45(2002))</p> <p>[酢酸ビニル] ウサギを用いた眼刺激性試験の結果、強度の刺激性が見られた。(CERI・NITE有害性評価書 No60(2004))</p> <p>[鉱油] ウサギを用いた試験により、軽度の刺激性が見られた。(IUCLID(2000))</p>
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	<p>呼吸器： [エチレングリコール] データなし。</p> <p>[酢酸ビニル] データなし。</p> <p>[鉱油] データなし。</p> <p>皮膚： [エチレングリコール] データ不足のため分類できない。</p> <p>[酢酸ビニル] モルモットを用いたBuchlar法による皮膚感作性試験の結果、「6/20匹に陽性の反応が得られた」(CERI・NITE有害性評価書 No60(2004))。</p> <p>アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある。</p> <p>[鉱油] モルモットを用いたOECD Guideline 406に準拠した試験において、感作性なし。(IUCLID(2000))</p>
生殖細胞変異原性：	<p>[エチレングリコール] ラットの優性致死試験で陰性。生殖細胞 in vivo 変異原性試験なし、体細胞 in vivo 変異原性試験(小核試験、染色体異常試験)で陰性。(CICAD45(2002))</p> <p>[酢酸ビニル] 遺伝性疾患のおそれの疑い。経世代変異原性なし、生殖細胞 in vivo 変異原性試験(小核試験)で陰性。体細胞 in vivo 変異原性試験(小核試験、染色体異常試験)で陽性、生殖細胞 in vivo 遺伝毒性試験なし。(CERI・NITE有害性評価書 No60(2004)、DFGOT vol.21(2005)、IARC 63(1995)、ATSDR(1992)、NTP DB(Access on February 2006))</p> <p>[鉱油] ラットを用いた細胞遺伝学的試験[染色体異常試験](体細胞 in vivo 変異原性試験)における異常細胞の増加。(IUCLID(2000)) 職業暴露を受けたヒトの抹消血リンパ球で染色体異常の頻度増加。(IARC suppl.7(1987))</p>
発がん性：	<p>[エチレングリコール] ACGIHではA4(ヒト発がん性に分類できない物質)に分類。</p> <p>[酢酸ビニル] 発がんのおそれの疑いがある。ACGIHでA3(動物発がん性であるがヒト発がん性不明の物質)に分類。</p> <p>[鉱油] IARC(1987)にて未精製油または軽度処理油はグループ1(ヒトに対する発がん性が認められる)に分類。高度精製油ではグループ3(ヒトに対する発がん性が分類できない)に分類。</p>
生殖毒性：	<p>[エチレングリコール] マウスや連続交配性試験、ラットの催奇形性試験において、母毒性のない用量で児動物への影響(奇形、骨化遅延、未骨化)がみられる。(CICAD 45(2002))</p> <p>[酢酸ビニル] ラット及びマウスの生殖毒性試験、催奇形性試験において、生殖毒性がないか、毒性学的な意義が少ない、または最小限な影響のみ誘発する結果が得られている。CERI・NITE有害性評価書 No60(2004)、IARC 63(1995)、ATSDR(1992)</p> <p>[鉱油] データなし。</p>
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)：	<p>[エチレングリコール] 臓器(中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器)の障害がある。</p> <p>[急性段階は、曝露後30分から12時間後に起こる中枢神経系への作用、次に曝露12~36時間後に起こる心肺系への影響、さらに第1及び第2段階で死亡を免れた者にみられる腎臓障害、そして中枢神経系の変性の4段階がある。(CERIハザードデータ集 97-24(1998))</p> <p>[酢酸ビニル] 呼吸器に対する刺激性が認められた。(CERI・NITE有害性評価書 No60(2004)。呼吸器への刺激のおそれがある。</p> <p>[鉱油] ラットに吸入曝露した試験により、肺に肉眼的、病理組織学的な急性変化(詳細不明)が用量依存的(1.51~5.05mg/L)にみられた(IUCLID(2000))。臓器(肺)の障害のおそれがある。</p>
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)：	<p>[エチレングリコール] 長期または反復暴露による臓器(中枢神経系、呼吸器、心臓)の障害がある。ヒトについては、「意識消失、眼球振とう」、「軽い頭痛と腰痛、上気道の刺激」。実験動物については「肺及び心臓に炎症性的変化」(環境省リスク評価書第3巻(2004))</p> <p>[酢酸ビニル] ヒトについて、「上気道の炎症」(環境省リスク評価書第2巻(2003))。実験動物について、「肺炎と鼻炎、鼻腔嗅上皮の萎縮、粘液分泌腺の萎縮、鼻腔嗅上皮の扁平上皮化生と萎縮、基底細胞の過形成」(CERI・NITE有害性評価書 No60(2004)。長期または反復暴露による臓器(呼吸器)の障害のおそれがある。</p> <p>[鉱油] 長年にわたり鉱油、あるいはそのミストの曝露を受けたヒトで肺線維症、</p>

吸引力呼吸器有害性：

脂肪肺炎、肺の脂肪肉芽腫が報告（ACGIH(2001)、IARC 33(1984)）。  
 長期または反復暴露による臓器(肺、皮膚)の障害がある。  
 [エチレングリコール] データなし。  
 [酢酸ビニル] データなし。  
 [鉱油] ヒトで鉱油の摂取により肺への吸引を起こし、油性肺炎または化学性肺炎をもたらし（EHC 20(1982)、IARC 33(1984)、ICSC (2001)、ACGIH(2001)）。  
 飲み込み、気道に進入すると生命に危険のおそれ。

12. 環境影響情報

移動性：

水域へ移動する可能性がある。

水生環境急性有害性：

[エチレングリコール] 魚類（ヒメダカ）LC<sub>50</sub>>100mg/L（96時間）  
 [酢酸ビニル] ヒメダカ LC<sub>50</sub>=2.39mg/L（96時間）  
 （CERI・NITE有害性評価書、2005）。水生生物に毒性。

水生環境慢性有害性：

[鉱油] データなし。  
 [エチレングリコール] 難水溶性でなく、急性毒性が低い。  
 （水溶解度=1.00×10<sup>6</sup>mg/L）  
 [酢酸ビニル] 急速分解性があり（BODによる分解度：90%）、かつ生物蓄積性が低いと推定される。（log Kow=0.73）（PHYSPROP Database(2005)）  
 [鉱油] データなし。

13. 廃棄上の注意：

残余廃棄物：

廃棄処理を業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して適切に処理すること。

汚染容器及び包装：

焼却する場合は、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン類対策特別措置法及び都道府県市町村条例等に適合する焼却設備を用いて行う。

廃棄処理を業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して適切に処理すること。

焼却する場合は、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン類対策特別措置法及び都道府県市町村条例等に適合する焼却設備を用いて行う。

14. 輸送上の注意

国連分類・番号：

該当しない。

陸上輸送：

消防法・労働安全衛生法等に基づき積載、輸送を行う。

海上輸送：

船舶安全法・港則法等に基づき積載、輸送を行う。

航空輸送：

航空法等に基づき積載、輸送を行う。

特別の安全対策

運搬に際しては、容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物  
 （法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）  
 [エチレングリコール]（政令番号 第75号）  
 [酢酸ビニル]（政令番号 第180号）  
 [鉱油]（政令番号 第168号）

化学物質管理促進法（PRTR）：

第一種指定化学物質  
 [エチレングリコール]（政令番号 第43号）

16. その他の情報

参考文献

化学物質等安全データシート（MSDS）－第1部内用及び項目の順序 JIS Z 7250  
 日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」  
 化学工業日報社「化審法化学物質」  
 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合検索システム  
 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター GHSモデルMSDS情報  
 日本接着剤工業会 室内空気質汚染対策のための自主管理規定  
 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ  
 GHS分類結果データベース  
 12093の化学商品（化学工業日報社）  
 危険物・毒物処理取扱いマニュアル（海外技術資料研究所）

災害事例

---

情報なし

---

- ・本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではありません。
- ・このデータは作成時の知見により作成しており、すべての情報を網羅しているものではありません。
- ・弊社が知見を有さない危険性、有害性を有する可能性もありますので、取り扱いに際しては用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施されますよう、お願いいたします。